

V. 全国大学附属農場協議会

1. 第53回東海・近畿地域大学附属農場協議会（担当：近畿大学）

文室政彦

開催期日：2012年8月30日～31日

開催場所：ホテルむさし（和歌山県白浜町）

参加者：12大学42名

1) 会議内容

(1) 平成25年度地域幹事（地域協議会当番校）の選出について

開催校の順番から、大阪府立大学とすることが承認された。

(2) 全国協議会の編集幹事選出方法について

今回は石川県立大学が担当されているが、次回以降の編集幹事選出方法が協議された。その結果、地域協議会当番校の順番に選出することとし、京都大学は一度担当されていることから、次の名古屋大学からスタートして、石川県立大学を最後とすることが決まった。

(3) 技術職員等の研修のあり方について

地域協議会で行う技術職員等の研修では、従来、技術職員による技術講演発表会が行われてきたが、技術職員および教員の負担が大きいことから、今後の研修のあり方が協議された。

その結果、従来の技術発表会は重要であることから、今後とも続けるものの、発表の方法や内容については当番校に任せる等の意見が出され、次回以降の協議会で再度協議されることとなった。

(4) 農場技術職員の新規採用について

技術職員の新規採用が困難な状況にあることから、各大学の取り組みについて情報交換が行われた。正規職員を採用しないと技術の継承が難しいこと、契約で採用しても5年継続して勤務すれば正規職員にするように事務方に働きかける等の意見が出された。

2) 技術等発表講演会

3大学から6名が発表した。

(1) 口蹄疫防疫対策の調査—大学附属農場における対策整備のために— 有代直人（岐阜大学）

(2) 産業動物臨床獣医師育成プログラムの構築 加藤隆司（岐阜大学）

(3) 三重大農場新製品ミカンジャム製造への取り組み 吉田智晴・宮崎 豊（三重大学）

(4) 温州ミカンの部分摘果による隔年結果の防止 堀川勇次（近畿大学）

(5) 近畿大学附属湯浅農場における活動～技術員の視点から～ 友廣教道（近畿大学）

(6) 「近大おいし鴨」による大学ブランドへの取り組み 岩森明彦（近畿大学）

3) 現地見学

31日に、2か所を見学した。

(1) 紀州梅干館（株式会社ウメタ）工場見学

(2) 中野BC（海南市）酒蔵、庭園見学